



○ 山門

寺城のほぼ中央に建ち、訪れる人々の心を引き締めるかのように威風堂々とそびえる山門は、宝暦11年(1761)の建立で、市の重要文化財に指定されている。



○ 坐禅堂

昭和63年(1988)青少年の健全育成、さらに多くの人々に坐禅による精神修養と修行研修のために建立された本格的な坐禅研修道場である。

寺歴

名称は天祐山公田院仁叟寺といい宗派は曹洞宗、大本山は永平寺・總持寺である。

室町時代、足利義満將軍の応永元年(1394)から正長元年(1428)にかけて吉井町奥平公田に奥平城主奥平貞訓公により創建された。

その後、子孫の貞能公が寺領を寄進した大永2年(1522)に現在の高崎市吉井町神保に寺を移して本堂を再建し開基となり、渋川市中郷雙林寺四世の高僧、直翁裔正禪師を初代住職に請して開山されたのが現在の寺のはじめである。

開山以来約五百年間戦乱の世にも厳然として格式を保ち続け天正18年(1590)奥平信昌夫人亀姫(徳川家康長女)より寺領を寄進され、さらに長根城主小幡公・宮崎城主奥平公・吉井城主菅沼公・地頭長谷川公同じく溝口公などの深い帰依と手厚い保護を受け、特に慶安2年(1649)徳川三代將軍家光公より寺領及び御朱印二十五石を改めて賜った。

下って明治23年(1890)には政府内務省より、県内全宗派寺院の中から世良田の長樂寺と仁叟寺の二ヶ寺が古社寺保存指定を受け保存御下賜金を受けた。

カヤの木

群馬県指定天然記念物
樹齢五百年以上



○ 鐘樓堂

天和3年(1631)に建立以来、時を告げ、平安を願う嚴嵩な音色を周辺に響かせてきたが、文化財として保存され、現梵鐘は平成に再铸造されたものである。



○ 薬師堂

平成6年(1994)歴代住職守護仏の黒薬師如来が本尊。

仁叟寺 四つの五百年

(当寺に伝わる五百年の歴史を有する寺宝)

- ①本堂
- ②本尊釈迦如来
- ③初代住職(開山)お手植の榧の木
- ④天宮の古井戸

○ 十三重石宝塔

平成十二年(2000)完成。
高さ十七m重さ一六五トン。日本一の大きさ。



薬師如来像



仁叟寺のほとけさま

文殊菩薩像



平成六年、中国五台山より初めて日本に渡り、文殊堂に奉迎安置。開運厄除・学業成就・家内安全・身体健勝・商売繁盛などのご功德が授かれています。

真佛苑 永代供養付独立墓地

もうさみしくありません不安もありません。
仁叟寺が責任をもってお守りします。
このような方にご利用いただいております。



- 子供や後継者のおられない方。
- 単身・夫婦・親子・兄弟姉妹で埋葬を希望の方。
- 仕事やその他の事情で墓地を定めにくい方。
- 現在、お遺骨を保有されていて、すぐに納骨を希望されている方。
- 自分が初代でこれまでお寺との縁がなくこれから菩提寺を定めたい方。

一般墓地 (檀信徒専用墓地)



お寺と檀信徒は、大きな家族であり固い絆で結ばれた心の故郷であります。仁叟寺を菩提寺と定め、檀家となつていただき、仏さまを信じる多くの檀信徒の仲間と共に歩んで行く方々の墓地です。当寺の環境良好な境内隣接地に整えてあり、3尺角から9尺角まで各種の大きさの墓地があります。